

FIC INTERIOR SHOWROOM TOUR2026

Tokyo Roppongi, Aoyama

2026年2月17日(火)

福島県インテリアコーディネーター協会

集合 10:20

東京駅ステーションギャラリー前(東京駅1F丸の内北口)

タクシー移動(15分)

◇AUDO Copenhagen

10:40~11:20

(六本木) 担当: 助川様

コペンハーゲンでショールーム型ホテルを展開している2023年に誕生したオドー・コペンハーゲン。2024年2月に日本に本格上陸しました。日本でも活躍するノーム・アーキテクトがデザインしたソファや照明など、幅広いインテリアアイテムを展開しています。

タクシー移動(10分)

◇カールハンセン&サン

11:45~12:15

(北青山) 担当: 兼重様

創業100年を超えるデンマークの家具メーカー、カール・ハンセン&サンは日本第1号の直営旗艦店、ハンズ・ウェグナーの名作「CH24(Yチェア)」をはじめ、ポーエ・モーエンセン、オーレ・ヴァンシャー、フリッツ・ヘニングセン、E00Sなど世界的なデザイナーによる家具を展示しています。チェアの展示が多いのでさまざまなタイプを座って比較でき、自分にぴったりのタイプを知るきっかけになるはずです。

徒歩(5分)

♥ランチ懇親会

12:20~14:00

Cafe & Dining ZelkovA/ザストリングス 表参道 03-5778-4566

徒歩(5分)

◇アルテック

14:10~14:40

(表参道) 担当: 奥井様

東京・表参道に位置するアルテックの旗艦店「Artek Tokyo」には、フィンランドデザインの巨匠たちによる家具や照明のほか、現代のデザイナーの最新作までが一室にそろっています。日本家屋にも現代的な都市部のマンションの一室にも心地よくフィットする、アルテックの家具をゆっくりと味わえる場所です。

徒歩(20分)

◇B&B イタリア&マクサルト

15:00~15:40

(南青山) 担当: 河谷様

「B&B Italia」と「マクサルト」、2つのコレクションでリビングやベッドルーム、ダイニングのシーンを提案。「現代の住宅」をイメージした1階は天井まで届く本棚などがディスプレイされ、ブランドの世界観を存分に感じられる場になっています。3階は約200坪の広々としたスペースに、ソファやチェア、ダイニング、ベッド、クローゼットなどコーナーごとに配された家具を、じっくりと堪能できます。

徒歩(3分)

◇モルテーニ東京

15:50~16:30

(南青山) 担当: 林様

1934年創業のイタリアの家具ブランドの旗艦店。自然光や家具やキッチンが灯す光と影により、建築と家具の素晴らしい素材・色の組み合わせが美しく調和し、温かみを感じさせる空間に。上質な収納家具をベースに、空間全体のコーディネート可能なライティングが揃います。建築家ヴィンセント・ヴァン・ドゥーゼンによる2階の「モルテーニHOME」(予約制)では、モルテーニが理想とする最新の住まいを具現化した空間を堪能できます。

※他にも、カッシーナ、ミッティ、ルイスボルセン、ポリフォーム etc. 注目のSRがたくん!

伊藤クミコ様

今回の見学会は、MICの皆様を含めて総勢12名の参加となり、北欧、イタリアのインテリアショールームを訪問し貴重な学びの機会となりました。

北欧のインテリアは家具、テキスタイル、小物など時代を超えて親しまれ、昨今「ジャパニディ」という言葉も生まれています。FICでは飛騨高山のフィンユール邸の見学や、30周年記念の「デンマークバーチャルツアー」、いわき市立美術館のフィンランド展などを通して北欧と日本の親和性を感じてきました。実際に体験すると、良質な素材から生まれるシンプルなデザインやナチュラル感は親しみやすく照明器具も魅力的でした。

イタリアのインテリアはモダンでラグジュアリーな家具、住まい全体をトータルで提案するものでした。高級な収納家具、キッチン、照明も驚くような斬新さ、職人技の美しい仕上げ、アウトドアのソファやテーブル、キッチンの大理石のワインカラーなど美しい色にも魅了されました。

各ショールームの担当の方から会社の成り立ちやデザイナーについても丁寧に説明をしていただいた後、実際にソファの座り心地や素材感の違いを確認し、北欧とイタリアのインテリアの違いを感じてきました。

東京駅に集合し
六本木へタクシーで移動



AUDO Copenhagen

キーワードはソフトミニマリズム



織田憲嗣氏との繋がりから
Oda Lounge Chiar という名がつけられている。オットマンの裏には
ODA OTTOMAN の刻印がありました。

カールハンセン&サン



ハンス J・ウェグナーの有名な Y チェア。ペーパーコードはナチュラルで丈夫。縦のラインも美しい。

アルテック



ランチ懇親会

Cafe&Dining ZelkovA /ザストリングス表参道
おいしいランチをいただきながら MIC さんと交流

シンプルなデザインの照明器具や
小物もおしゃれでした。

B&B イタリア&マクサルト



照明器具が凄い



アウトドア用の
ソファも綺麗な
イタリアンカラー

モルテーニ東京

赤の大理石のキッチン



進化するシステム収納

参加者の感想

- ① オドー・コペンハーゲンでは、空間全体が静かで洗練され、家具一つ一つが彫刻のように存在していた。特にペンギンチェアに代表される造形は、曲線の美しさと緊張感が共存し、北欧デザインの奥深さを感じた。
- ② カール・ハンセンでは、職人技による木工の精度と座り心地の良さが印象的で、長く使い継がれる理由を体感。名作椅子が持つ普遍性と温かみが空間全体に広がっていた。両者は同じ北欧でも、彫刻的表現とクラフト性という異なる魅力を強く感じた。
- ③アルテックでは、バーチ材の明るさと柔らかな色彩が空間全体に広がり、日常に寄り添うデザインの力を強く感じた。曲木技術による軽やかな構造と機能性は、公共空間にも住宅にも自然に溶け込み、シンプルでありながら温かみがある。北欧モダニズムの思想が、今も生活の中で息づいていることを実感した。
- ④B&B Italia&Maxalto では、イタリアモダンの完成度の高さを強く感じた。B&B イタリアは革新的な素材開発と直線的で洗練されたフォルムが特徴で、空間全体に緊張感と都会的な美しさをもたらしていた。一方マクスアルトは、同じブランドグループでありながら木質感を活かした落ち着きと重厚感があり、クラシックとモダンを融合させた上質な空気感が印象的だった。両者は対照的でありながら、細部のディテールや仕上げの精度に共通する高級感があり、イタリアデザインの奥行きを体感できた。
- ⑤Molteni&C 東京では、家具という枠を超え、建築と一体化した空間提案の完成度の高さを強く感じた。キッチンや収納は直線的で無駄がなく、レットレパント【赤の大理石】の素材のキッチン天板の切り替えや陰影の使い方が非常に美しい。扉や面材の精度、納まりの美しさからはイタリアブランドならではの技術力と思想が伝わってくる。派手さではなく、静かな存在感と構成力で魅せる空間づくりが印象的で、上質な住環境とは何かを改めて考えさせられるショールームであった。



FIC 佐藤悦子

開催にあたり準備していただいた伊藤さん、ご参加いただいたコーディネーターの皆様ありがとうございました。